

平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	ラーニング（学ぶ）・ワーキング（働く）型 おぢか滞在・定住サポートシステムの構築事業
対象地域	長崎県小値賀町 小値賀島内全域
対象地域の概要	高齢化率（65才以上の割合）42%／出産数 2.3人年（平成19年）  ←空家の増加 新産業の未成熟→ 
提案内容の概要	■平成20年度の実施内容・実績を基礎としたより一層のマッチング事例の積み重ね ■夏季（春～秋）ラーニングプログラムの開発調査 ■魅力的なコンテンツ及び双方向情報交換機能を有したウェブサイトの一層の充実 ■平成22年度以降へ向けた、おぢかUIターンサポートセンター「立ち上げ、自律化」の戦略策定、事業性検証
提案する活動の内容 （1）地域の課題	■マッチング事例において浮き彫りとなった、ラーニング＆ワーキングホリデーの体系的整備（仕組み整備）の必要性 ・定住者獲得の確率を上げるためには、分母となる「UIターン検討者」の裾野を広げる必要がある。しかしながら、現状は未整備なため、受入側の労力負担及び経済的負担が大きく、かつ、対象者にとっても、ラーニング＆ワーキングホリデーへの参加を検討するにあたっての情報が極めて得難い状況である。 ■平成20年度の活動だけでは、地域内ニーズに応える新たな起業及び一次産業の後継者としての新規就業を創出できていない。（マッチング事例の不足。更なる事例積み重ねが必要。）
（2）活動内容の案	活動①：夏季（春～秋）ラーニングプログラムの調査・開発 内容：【時期】6月～9月 一次産業（小値賀島内の農業、漁業）について、直接的な就労体験による深い学びに結びつくプログラムを開発中であるが、昨年度には実施できなかった、夏季（春～秋）にかけての農作業、作物、漁形態、対象魚等について、プログラムの調査・開発を行う。 【ねらい】 四季を通じたラーニングプログラムをラインアップ（品揃え）することにより、選択肢とオンデマンドのサービスを提供することが可能となる。 また、一次産業従事者には自らの技能、経験を語り伝える場となるとともに、都市住民の志向・嗜好を直接コミュニケーションにより把握することが出来る貴重な機会となり得るため。 活動②：ラーニング＆ワーキングホリデーの体系的整備（仕組み整備）、受入体制の構築 内容：【時期】6月～3月 ①体系整備、受入体制の構築 農協・漁協・担い手公社・役場・受入民家等、関係主体への一層の周知と協働依頼、調整会議の開催を通じて、希望者と体験提供者（一次産業従事者、その他）のマッチング、ホームステイ又は研修用宿舎の操配、体験（学び）内容の調整、費用とその清算等に関する体系を整備していく。 ②受入事例の蓄積 通期において希望者の受入れを行い、試行錯誤を重ねることにより体系（仕組み）としての完成度を高め、希望者・参加者により具体的かつ実り（深い学び、UIターンの現地情報・状況）の多い体験を提供していく。 【ねらい】 定住促進・定住者の獲得のためには、興味を抱いたらすぐに行動できる「気軽な」体験・学びの場を入口（ファーストステップ）として用意し、常時門戸を開放しておく必要がある。

	また、体系整備を行うことで、現在は、負担の大きい受入側（体験提供者、民家等）の負担軽減を図る。 活動③：福岡における説明会開催、島暮らし体験の実施 内容：【時期】１月～２月 福岡市において、福岡周縁部も含めた都市住民に対して、島暮らしや小値賀町への移住、二地域居住、ラーニング＆ワーキングホリデーの情報を直接コミュニケーションにより提供するワークショップ形式の説明会を実施する。（１回） また、１泊２日程度の導入的短期モニター体験を実施し、その参加者に対して、次のステップとして位置付けるラーニング＆ワーキングホリデーへの参加や移住への意欲が高まるよう働きかける。（１回） 【ねらい】 定期的な都市住民マーケティングを実施することにより、常に変遷するマーケットニーズを把握し、小値賀における滞在・定住促進策をフレキシブルに適合させていくとともに、説明会及び体験の参加者を次のステップに誘導する 活動④：Ｗｅｂサイトによる情報発信の充実・強化 内容：【時期】１０月～３月 ラーニング＆ワーキングホリデー、田舎暮らし、島への移住に興味ある対象者又は具体的に検討している対象者が欲する情報についての調査検討及びコンテンツ整備を行い、対象者からみて有益な「欲しい情報」が網羅されたＷｅｂサイトを構築していく。 現行ブログから単独Ｗｅｂサイト（又はアイランドツーリズム協会サイトとの連動）への移行を行い、豊富なコンテンツと双方向情報交換機能を有したものへと充実・強化していく。 【ねらい】地域主導の情報発信が可能であり、かつ、有効なマーケティングツールとして機能させるためには、Ｗｅｂサイトの情報量、情報内容の質がキーポイント。
応募団体名	特定非営利活動法人おぢかアイランドツーリズム協会・株式会社小値賀観光まちづくり公社
リンク	http://nozaki-jima.jp
部局／担当者名	特定非営利活動法人おぢかアイランドツーリズム協会／亀津淳司 株式会社小値賀観光まちづくり公社／亀津淳司
連絡先	TEL 0959-56-2646／FAX 0959-56-3530 Mail： kame@nozaki-jima.jp （担当者メールアドレス）
推薦市町村名	長崎県北松浦郡小値賀町